

被災地の一日も早い復興を願いながら、できることを粛々と行なっていきたいと思えます。

平成30年9月の新設住宅着工は81,903戸で、前年同月と比較すると、分譲住宅は増加しましたが、貸し家が減少したために、全体で1.5%の減少となりました。先月の増加から再びの減少です。

季節調整済み年率換算値は943,000戸。前月比1.6%減で、2か月連続の減少です。

持家は24,873戸で前年同月比0.0%減、2か月ぶりの減少です。

貸し家は35,350戸で、5.8%減、先月の増加から再びの減少です。

分譲住宅は21,064戸で4.3%増、2か月連続の増加。

内、マンションは8,934戸、3.5%増、2か月連続の増加。

一戸建て住宅は11,882戸、4.7%増、6か月連続の増加。

地域別戸数は、首都圏対前年同月比0.5%増、中部圏0.0%減、その他地域は7.5%減で

近畿圏は、対前年同月比10.5%増です。

近畿の府県別対前年同月比は、滋賀35.9%減、京都6.6%増、大阪33.5%増、兵庫16.9%減、奈良1.2%増、和歌山25.0%増でした。

東京は対前年同月比4.2%増、愛知は1.5%減です。

民間非居住建築物は、前年同月との比較では、店舗と工場は増加しましたが、事務所と倉庫が減少したので、全体で減少となりました。

全建築物の着工床面積は、1,116万m²で、前年同月比4.2%減です。

2か月連続の減少です。

民間非居住用の事務所は42万m²で前年同月比48.7%減、2か月連続の減少。

店舗は38万m²で22.7%増、先月の減少から再びの増加。

工場は93万m²で13.5%増、4か月連続の増加。

倉庫は75万m²で1.2%減、6か月連続の減少。

全建築物の近畿の府県別対前年同月比は、滋賀12.0%減、京都0.9%増、大阪31.1%増、兵庫10.0%減、奈良25.6%減、和歌山65.5%増でした。

東京は対前年同月比30.2%減、愛知は12.3%減です。



全体的に材木・合板ともに、流通在庫や価格面で不安定な状況が続いています。



環境対策の点からも、木材は循環型の再生可能な資源です。燃やされない限り、木材は二酸化炭素を体内に固定し続けます。新たに植樹することにより、若木のCO₂吸収量は活発化します。木材を使うこと自体は、決して森林破壊にはなりません。

仮設材に使用される木材も、単なるゴミはならず、木材チップなどに再利用されています。

木材を多くご利用いただけることは、環境を良くするという事をご理解いただけたら幸いです。

NO. 1 仮設材について

仮設材の流通在庫は今のところ安定していますが、外国産材の入荷量が少ないのと、豪雨等の影響で国産材も少ない状況です。値上げ基調になってきています。

型枠用合板の流通在庫は依然として品薄状態が続いています。

横矢板既製品寸法の厚み27mm・30mm・35mmは在庫しています。

栈木は仮囲い用の仮設栈(栈木2等品)をご用意しています。

リン木は桧・杉材や米栴材にてご用意(時期により在庫樹種は変わります)。

養生ベニヤはNONJAS品のため、住宅養生には適しません。厚みムラもあります。



NO. 2 米松梁材について

米材の入荷量はまだまだ少ない状況で、価格面は高値安定傾向です。



NO. 3 外国産構造材について

ホワイトウッド材の流通在庫は引き続き少ない状況です。米松羽柄材も流通量は少ない状況です。それぞれ高値横ばい傾向です。ロシア赤松材も依然として良品の入荷量が少ない状況で価格上昇傾向です。



NO. 4 国産構造材について

西日本豪雨等の影響で、原木出材量が減少。桧材、杉材ともに今後、供給面、価格面で不安定な状況になる見通しです。杉KD柱材や桧土台はすでに不足感、価格上昇傾向です。

国産材を使用する意義は、国内山林の環境保護・国内林業の活性化・自給率UP・花粉症対策だと思います。

そして、国産材の域に留まらず、兵庫県産材の動きのように、地域材を積極的に使っていこうという気運もあります。

知名度は低いですが、「大阪府内産材」にも同じ動きが官公庁関係を中心にしています。

弊社は大阪府内産材を積極的にPRしています。

特に大阪府の特徴でもある桧材の流通を目指しています。

公共建築物等木材利用促進法の成立により、国産材は脚光を浴びています。

NO. 5 造作材 米栴無節・上小節材(粗木)について

別注品対応をしています。



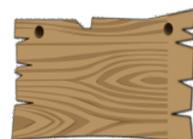
NO. 6 無垢材について

建材造作材の一般住宅への定番化により、無垢材利用がかなり減っています。

樹種を問わず、原木・製材品化されたもの共に、入荷量が少なくなっています。

NO. 7 積層材について

積層材既製品(フリー板)の取り扱いアイテムを増やしています。



NO. 8 内外装下地材について(ベニヤ・ボード等)

引き続き、ラワン合板はアイテムによって品薄状態が続いています。価格は上昇しています。

針葉樹合板の価格は横ばいもしくは下降気味ですが、需要が少し出ると反転すると思われます。流通在庫は安定してきました。

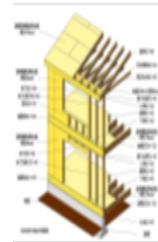
パーティクルボードは依然として流通在庫がなく、割り当てのような感じです。少し光明も見えだしたかの様相もあります。

ケイカル板は、5mmに代わって6mmを在庫しています。

NO. 9 内装仕上げ材について(建材メーカー商品等)

パナソニックと特約代理店契約を結んでいます。

特に、内装ドア、造作材、床材などの内装建材のサービスが充実しています。

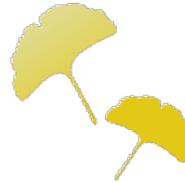


NO. 10 断熱材関係商品について

グラスウール・ロックウールともに、安定しています。

NO. 11 養生材について

養生材の販売強化に努めています。



NO. 12 接着剤について

接着剤も値上げ傾向です。



NO. 13 金物・現場備品について

販売強化に努めています。



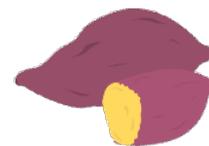
NO. 14 加工費について

加工に強い会社を目指しています。



NO. 15 各建材メーカー商品について

システムキッチン・ユニットバスなどの水回り設備機器商品の納期は、各メーカーとも安定。



大阪府の補助金事業「木のぬくもり推進事業」

民間の幼稚園や保育園、認定こども園などでの「木育」を推進するために、施設の木質化を図っていかうという事業です。

山忠木材は、この事業にまじめに取り組んでいます。





地産地生 — 地域材

大阪府内産を始め、京都府内産・市内産など地域材活用を推進しています。

国産材・地域材志向のお施主様のお役に立ちます。

地元愛のために活動しています。



優しさ — 福祉

健康福祉用品・介護用品を販売しています。

介護保険適用特定福祉用具販売事業者です。

介護用品レンタルも始めました(介護保険適用外)。

介護保険適用事業所 **たろうの店 きごころ**

「特定福祉用具販売・特定介護予防福祉用具販売」 事業所番号2772701435



安らぎ — 災害への備え

住まいの健康チェック



思いやり — エコロジー



日本の和 — 和の商材



日本には日本の木を、大阪には大阪の木を、と願って、

優しさと安らぎと思いやりをテーマに

地域の福祉や環境に貢献できるような、

まじめな会社と言われたい。



ご用命をよろしくお願い申し上げます。

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9

TEL 06-6552-0781

FAX 06-6552-0784

